

2021年11月

お得意様 各位

株式会社 吉 村

【続報】酢酸エチルの状況と今後の対応について

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日緊急の発信をさせていただきました酢酸エチルにつきましてその後の状況と今後の対応につきまして報告をさせていただきます。

茶袋等を生産する際に必要な酢酸エチルの入荷の見通しは依然として不透明な状況でございます。10月以降の供給制限は現実のものとなり、生産に必要な量の確保はできておらず、今後の入荷の予定は立っておりません。このような状況の中で、弊社工場ではいくつかの代替素材でのテスト検証をおこなってまいりました。その中で、品質面及び環境面にも配慮した代替品（デジタル印刷技術で培った押出しラミネート用水性アンカーコート剤）を用いて、良好な検証結果を得ることができましたことをここに報告させていただきます。

現段階では、フィルムの劣化試験で10ヶ月は問題なくご使用していただくことができる結果を得ております。もちろん10ヶ月で甘んじることなく、劣化試験は継続し更なる耐用期間延長の検証をしまっている所存です。酢酸エチルの入荷の見通しが立たない現段階で、袋の生産を止めないことを第一義と考え、今回の代替溶剤での生産に11月15日以降の押出しラミネート品の社内生産分は順次切り替えてまいりますので、ご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

一方、カタログ掲載品の茶袋、海苔袋、無地袋、オーダー品（別注品）の一部は、弊社の協力工場にて生産をしております。こちらは、溶剤を酢酸エチルからMEK（メチルエチルケトン）への代替にて生産を継続し、安定供給に努める所存でございます。MEKは、印刷用のインキや接着剤の成分として使用されているものとなります。酢酸エチルと比べ、感覚的なものではありませんが、フィルムパッケージ特有のにおいの系統が異なりますが、袋の品質上問題はございませんので、あらかじめご了承とご理解をいただきますようお願い申し上げます。

また、昨年来続いております、アルミの世界的な需要拡大によるアルミ箔の急騰と納期の逼迫状況、その他のフィルムの入荷状況の逼迫は現在も続いております。お客様の早期発注による受注集中もございまして、グラビア・エスプリ生産品の年内納品は、大変厳しい状況となっております。お客様におかれましては、ご不便をお掛けすることとなり誠に申し訳ございませんが、化成品関連の納期には在版品（リピート品）で現状2ヶ月程度の余裕をお持ちになったご発注をお願いいたしたく、引き続きご協力とご理解を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 具